

ファブルブラントの

時計



No.346
平成25年10月

今では古い記憶になったが、腕時計の修理依頼に訪ねた市内のその時計舗の奥には、ゆったりと時計を刻む大きな振り子の置き時計が重厚な威容を誇っていた。

ブルブラントは1841年スイスに生まれ、若い時から東洋に強い関心を抱き、地理や歴史を学び、日本への熱情を更に強くしたと思われる。

まだ時計が珍しかった明治の初期にあつて、機械部は輸入品で、外枠の木の部分は日本の指物師によるものであるとの主人の話は頷けた。特に、その機械部はファブルブラント商会によるものであるということ、印象的である。

1863年にスイスの開国使節団の一員として来日し、調印後も日本に留まり、商館を横浜の居留地52番に置き、武器・諸機械・時計・宝飾品などを扱う総合商社として、薩摩藩や明治期の新時代の要人と交渉を深めつつ事業を展開していった。

開国期、横浜や神戸の居留地には「商館」と呼ばれた外国人の貿易商がいたが、彼らの扱う時計は「商館時計」とよばれ、高いステイタスをもっていた。特にファブルブラントは、わが国時計貿易史上ではユニークな地位をしめており、明治期全国時計業界に大きな影響を与えた人である。

創業者のジェームス・ファ

ブルブラントは1841年スイスに生まれ、若い時から東洋に強い関心を抱き、地理や歴史を学び、日本への熱情を更に強くしたと思われる。

その扱う内容と品質の良さから、誠実な商人としての信頼を確立し、特に、イギリスやスイス製懐中時計の輸入量は多く、品質には定評がある。文明開化のシンボルのひとつである著名な塔時計の機械も扱うなど、機械貿易商としての名声は、すでに日本中に鳴り響いていたものと思われる。

1868年、松野久子という美貌の日本婦人と結婚し、

7人の子女をもうけている。

当時、時計小売商の業務は新品の販売ばかりでなく、修理も同等の重要性をもっていたが、彼の世話でスイスの時計学校で技術を学び、帰朝後のわが国の時計産業の発展に尽力した人も多い。また明治前期の有力時計商で、ファブルブラントと取引を結ばなかった者はなく、中でも、京屋時計店（外神田旅籠町）の水野伊和造は、代理店として販売に努力している。

そして、明治も20年代には国内の時計製造の工場も多くでき、25年には、精工舎も設立されるなど、国内の時計産業も発達の萌芽がみられるようになってきた。

今地方の古い時計舗には、わが国時計産業の発達や流通など、技術・社会史の面からも意義深いものが伺えるが、明治から変わらぬ時の刻みを続けるファブルブラントの威容に、長い歴史と更なる価値を感じる。

茂原市文化財審議会委員

小高 憲二

文芸コーナー

俳句

桑の実やふる里の小川友の顔

河野 智子

波向う飛魚跳ねて君思う

武居 敬子

短歌

秋風がはるか昔の恋を連れ

舞い戻るなど夢も教えず

時女 礼子

白き房今を盛りと栗の花

役を果して潔く落ち

山本 明美

川柳

願い事のんびりと待つ年の功

稲子 勝久

アベノミクス景気浮揚を待つ余生

大井 康章

優先席までもスマホが座り込み

大久保 絵

遺書書いて保険入って空の旅

千葉 加津子

鏡見るたびに増える笑い皺

大野 登志子

人参をやる気ない子にさげてる

河野 美津子

お線香今は香りで選んでる

押野 三枝子

●偶数月は「俳句・短歌・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。

●投稿は楷書でお願いします。

※俳句、短歌、川柳の原稿送付先

〒297-8511 茂原市道表1番地 茂原市役所秘書広報課宛「文芸コーナー」と朱書きしてください。